



こどもクリニックニュース

NO. 239 令和1年12月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (2020年1月まで)

12月	5日	(木)	検診	スピカレディースC
	18日	(水)	内科健診 1才半健診	第4保育所 AM 加須・保健センター
1月	8日	(水)	3・9ヶ月健診	大利根・保健センター
	16日	(木)	検診	スピカレディースC
	17日	(金)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター
	22日	(水)	1才半健診	加須・保健センター
	29日	(水)	9ヶ月健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休診の予定

12月29日(日)～1月3日(金)

小児科休日診療の当番

令和2年1月5日までの当番一覧です。加須市では、11月～3月は元日を除くすべての日曜・祝日に、4月～10月は祝日に小児科休日診療を行っています。

月	日	曜日	当番医
12月	1日	(日)	中田病院
	8日	(日)	福島小児科医院
	15日	(日)	中田病院
	22日	(日)	ともながこどもC
	29日	(日)	加藤こどもC
	30日	(月)	つのだ小児科医院
	31日	(火)	つのだ小児科医院

月	日	曜日	当番医
1月	1日	(水)	-
	2日	(木)	中田病院
	3日	(金)	福島小児科医院
	5日	(日)	ともながこどもC

※診療時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

インフルエンザワクチン (実施中)

生後6ヶ月～接種可能です。

接種回数 (推奨)

13歳未満は(2～)4週間の間隔で2回

13歳以上は1回

接種料金

3,500円/1回 (成人・小児共通です)

13歳未満のお子様は2回接種する場合は、合計7,000円になります。

12月21日までの土曜日午後にインフルエンザ専用時間帯を設定しています。この時間帯はネット予約も可能です。ただしインフルエンザ単独接種のみであり、他のワクチン(同時接種を含む)はできません。

通常の診療時間にもワクチン接種できますが、一般の患者さんの診療に大きな支障が出ないよう、人数を制限しています。1月末まで実施予定です。

火曜日・金曜日の昼の予防接種専用時間は、インフルエンザ以外のワクチン専用にしてますが、他のワクチンとの同時接種であれば、インフルエンザも接種可能です。



感染症の情報

インフルエンザの報告数は、この時期にしては多い状態が続いており、埼玉県内でもこの数週間間に確実に増加してきました。今のところ埼玉県南部が多く、県北部は少ない状態ですが、今後流行が拡大するのは時間の問題でしょう。寒くて乾燥した日も増えてきましたので、体調管理に十分注意してください。

その他、溶連菌感染症とリンゴ病がやや目立ちます。

手洗いやマスクはすべての感染症の予防に有効です。

スギ花粉の免疫療法・・・始めるなら年内に！

スギ花粉の舌下免疫療法は「スギ花粉が飛散している時期ならびにその前後1か月間は、治療を開始してはならない」という決まりがあります。関東地域でスギ花粉が飛散し始めるのは、(地域差やその年の天候による違いがありますが)、おおよそ2月初めころです。したがって1月に入ってしまったらこの治療を始めることはできません。免疫療法を検討している方はお早めにご相談ください。

そもそも「スギ花粉の免疫療法」とは・・・

スギ花粉によるアレルギーのため、毎春つらい症状で苦しんでいる方に対し、スギ花粉(のエキス)を毎日少量ずつ体に取り入れる治療法です。長期間続けることによりスギ花粉に体が慣れて、花粉飛散時期にも症状が軽減することが期待されます。体質改善療法とも呼ばれます。

スギ花粉(エキス)を体に入れる方法として、何十年も前から注射で行う方法がありましたが、医療機関に毎月数回通院する必要があり、痛みもありますので普及していませんでした。スギ花粉を自分で舌の下に置いて、1分間ほど待つだけで済むのが舌下免疫療法です。簡単で、痛みはありません。

難点といえば、毎月1回は医療機関を受診する必要がありますでしょうか。また治療効果が確認できるまでには、個人差もありますが、それなりの時間がかかります。治療期間は3年から5年間くらいが推奨されています。つまり3年以上、毎月1回、定期的に通院する必要があります。

また治療開始前に血液検査等でスギ花粉アレルギーがあることの確認が必要ですし、開始初期に口やのどの痒みが出る方もいますが、これらは大きな支障にはならないようです。

対象年齢について

当初は12歳以上という制限がありましたが、数年前に錠剤タイプに変更になった時に年齢制限が撤廃されました。ただし通常の薬剤のように単に飲み込むのではなく「舌下に保持する」という形式ですので、乳幼児は無理かと考えます。私は小学1年生以上をお勧めします。

B型肝炎ワクチンの現状

相変わらずワクチンの品薄状態は続いています。11月ころから当院の入荷量は以前よりも増加しました。それでも当院のワクチン在庫は「申し込み」の人数分には足りません。ひきつづき申し込みしている方の接種回数や生年月日等、優先度を考慮しながら接種しています。

医療機関によってもワクチンの在庫に差があるようです。お急ぎの方は複数の医療機関にお問い合わせしてみることをお勧めします。

インフルエンザ治療薬「ゾフルーザ」

昨年発売されたインフルエンザ治療薬ゾフルーザですが、1シーズン使用した後の調査の結果「薬剤耐性ウイルス」が高頻度で出現することが判明したとのことです。インフルエンザの型(A、B)や年齢によっても耐性ウイルスの出現率に違いがあるようですが、小児は成人よりも出現率がとても高いようです。そのため日本感染症学会は「12歳未満の小児へのゾフルーザの使用は推奨しない。」という提言を出しました。報道によれば日本小児科学会も同様の提言をしたそうです。成人への使用も控えておいたほうが良さそうです。

インフルエンザの治療はタミフルやリレンザ、イナビルといった従来から使っていた薬で十分対応できますので、今後当院では、原則としてゾフルーザの処方はいらないことといたします。



夜間や休日の急病対策/電話相談

#7119・・・# 7 (何でも) 119番!

北川辺地域では 048-824-4199 へ

小児の救急電話相談(#8000)、成人の救急電話相談(#7000)、そして埼玉県救急医療情報案内を一つにまとめた相談ダイヤルです。

これさえ覚えておけば、こどもから大人まで、全ての方の医療相談や医療機関の案内まで対応してくれますので便利です。

こどもの救急(日本小児科学会)

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。

<http://kodomo-qq.jp/>



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150